

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年12月14日

【四半期会計期間】 第14期第2四半期(自 平成27年8月1日 至 平成27年10月31日)

【会社名】 株式会社ビューティガレッジ

【英訳名】 BEAUTY GARAGE Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役CEO 野村 秀輝

【本店の所在の場所】 東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号

【電話番号】 03 - 5752 - 3897

【事務連絡者氏名】 執行役員 経営管理グループ統括責任者 伊藤 雅之

【最寄りの連絡場所】 東京都世田谷区桜新町一丁目34番25号

【電話番号】 03 - 5752 - 3897

【事務連絡者氏名】 執行役員 経営管理グループ統括責任者 伊藤 雅之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第13期 第2四半期 連結累計期間	第14期 第2四半期 連結累計期間	第13期
会計期間	自 平成26年5月1日 至 平成26年10月31日	自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日	自 平成26年5月1日 至 平成27年4月30日
売上高 (百万円)	3,514	4,126	7,275
経常利益 (百万円)	183	172	391
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	113	108	249
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	113	103	245
純資産額 (百万円)	1,370	1,592	1,516
総資産額 (百万円)	2,712	3,026	2,901
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	19.19	18.19	41.91
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	18.98	17.47	40.92
自己資本比率 (%)	50.5	52.5	51.9
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	175	24	379
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	36	53	110
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	65	14	14
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	758	825	838

回次	第13期 第2四半期 連結会計期間	第14期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成26年8月1日 至 平成26年10月31日	自 平成27年8月1日 至 平成27年10月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	13.92	11.33

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。
4. 平成27年5月1日付で1株につき5株の株式分割を行いました。第13期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

該当事項はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善など、総じて緩やかな回復基調となりましたが、消費者物価の上昇による個人消費の伸び悩みなど、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが事業を展開する美容サロン業界におきましては、美容室の新規開業店舗数が増加傾向となるなど回復の兆しが見られました。

そのような状況下、当社グループでは「開業支援」から「開業+経営支援」へのサービス領域を拡大することで更なる成長を図るべく、化粧品・消耗品などのリピート商材の商品ラインナップ拡充による「フロー&ストック型の収益構造への転換」や、採用・教育支援メニューの強化による「経営ソリューションサービスの充実」などの取組を継続的に実施して参りました。

平成27年10月末時点のアクティブユーザ（過去1年間に1回以上購入したユーザ）は82,355口座（前年同期比9,925口座増）に伸長し、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,126,858千円（前年同期比17.4%増）となりましたが、物販事業の売上総利益率の低下の影響もあり、売上総利益は1,322,129千円（前年同期比9.9%増）にとどまりました。販売費及び一般管理費の圧縮に努めたことにより、営業利益は176,817千円（前年同期比0.1%増）となりましたが、為替差損の計上もあって、経常利益172,686千円（前年同期比5.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益108,662千円（前年同期比4.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム、カタログ通販誌「BG STYLE」を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を全国のビューティサロンに提供しております。

物販事業売上高の約6割を占める当社の最も重要な販売経路である「BEAUTY GARAGE Online Shop」経由の売上高は前年同期比約125%の伸長を続けており、平成26年12月に実施したスマートフォン用サイトの全面リニューアルに続き、平成27年6月にはスマートフォン用発注アプリ「スマート発注」をリリースし、モバイルによる受注促進に注力いたしました。また当社オリジナルのネイルブランド「Raygel」を日本製としてリニューアル投入するなどの、新商品開発にも努めてまいりました。一方で主に円安進行による原価率の上昇と化粧品・消耗品売上比率の向上もあって、売上総利益率が低下いたしました。また、連結子会社株式会社アイラッシュガレージの本格稼働にともなう投資コストが先行いたしました。

この結果、当事業の売上高は3,166,986千円（前年同期比14.0%増）、セグメント利益は204,973千円（前年同期比10.6%減）となりました。

#### 店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより店舗設計・工事施工監理を提供しており、東京・金沢・福岡・大阪・名古屋の5つの拠点にオフィスを構え当社と連携して事業を展開しております。

デザイナーの増員や積極的な営業活動を行い新規顧客の開拓や大型案件の獲得に努めたことから、当事業の売上高は811,203千円（前年同期比35.4%増）、セグメント利益は43,406千円（前年同期比75.0%増）となりました。

#### その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして居抜き物件仲介サービスや集客支援サービス、採用支援サービス、教育サービス等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、居抜き不動産仲介サービス、保険サービスや集客支援サービスなどが好調だったことから、当事業の売上高は148,668千円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は29,503千円（前年同期比81.6%増）となっております。

## (2) 財政状態の分析

### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%増加し、2,676,436千円となりました。これは、主にその他流動資産の減少50,720千円があったものの、商品の増加120,228千円があったことによるものであります。

### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて15.8%増加し、350,182千円となりました。これは、主に投資その他の資産の増加42,680千円及び有形固定資産の増加10,121千円によるものであります。

### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、1,261,838千円となりました。これは、主にその他流動負債の減少76,956千円があったものの、賞与引当金の増加74,274千円及び1年内返済予定の長期借入金の増加5,288千円があったことによるものであります。

### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて37.4%増加し、172,627千円となりました。これは、主に長期借入金の増加34,252千円によるものであります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて5.0%増加し、1,592,153千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少28,658千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加108,662千円があったことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ13,667千円減少し、825,080千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、24,884千円（前年同期比85.8%減）となりました。これは、主にたな卸資産の増加147,807千円及び法人税等の支払額104,084千円があったものの、税金等調整前四半期純利益172,870千円の計上及びその他の引当金の増加75,527千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、53,349千円（前年同期比47.8%増）となりました。これは、主に投資有価証券の取得による支出32,000千円、有形固定資産の取得による支出15,506千円及び敷金保証金の差入による支出12,121千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、14,588千円（前年同期比77.6%減）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出60,460千円、配当金の支払額28,576千円及び短期借入金の返済による支出12,500千円があったものの、長期借入れによる収入100,000千円及び短期借入れによる収入15,000千円があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 生産、受注及び販売の実績

生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
店舗設計事業	709,863	+35.6

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 金額は製造原価によっております。

仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同四半期比(%)
物販事業	2,170,073	+17.0
その他周辺ソリューション事業	41,383	16.6
合計	2,211,457	+16.1

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 金額は仕入価格によっております。

受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
店舗設計事業	787,098	+4.1	167,560	34.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	区分	販売高(千円)		前年同四半期比(%)
		前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	
物販事業		2,777,352	3,166,986	+14.0
	理美容機器	1,993,641	2,151,009	+7.9
	化粧品等	783,710	1,015,977	+29.6
店舗設計事業		599,036	811,203	+35.4
その他周辺ソリューション事業		137,648	148,668	+8.0
合計		3,514,036	4,126,858	+17.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	21,160,000
計	21,160,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成27年10月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成27年12月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,976,000	5,976,000	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株 であります。
計	5,976,000	5,976,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年8月1日～ 平成27年10月31日		5,976,000		269,745		221,012

(6) 【大株主の状況】

平成27年10月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
野村 秀輝	東京都世田谷区	1,800,000	30.12
供田 修一	東京都杉並区	770,000	12.88
野村 貴久	石川県金沢市	290,000	4.85
樺島 義明	東京都世田谷区	250,000	4.18
株式会社SBI証券	東京都港区六本木一丁目6番1号	246,200	4.11
HSBC FUND SERVICES A/C 006JF (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部 Senior Manajor, Operation 小松原英太郎)	LEVEL 13,1 QUEEN'S ROAD CENTRAL, HONG KONG (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	212,500	3.55
GOLDMAN SACHS & CO.REG (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社 代表取締役社長 持田昌典)	200 WEST STREET NEW YORK, NY, USA (東京都港区六本木6丁目10-1 六本木ヒルズ森タワー)	209,000	3.49
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C NON TREATY (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部 Senior Manajor, Operation 小松原英太郎)	50 BANK STREET CANARY WH ARF LONDON E14 5NT, UK (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	162,200	2.71
勝 憲司	東京都港区	111,900	1.87
森實 厚裕	愛知県大府市	100,000	1.67
計		4,151,800	69.47

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成27年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,975,000	59,750	単元株式数は100株であります。権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
単元未満株式	普通株式 600		
発行済株式総数	5,976,000		
総株主の議決権		59,750	

## 【自己株式等】

平成27年10月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ビューティガ レッジ	東京都世田谷区桜新町一丁 目34番25号	400		400	0.00
計		400		400	0.00

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成27年8月1日から平成27年10月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年5月1日から平成27年10月31日まで)の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	838,748	825,080
受取手形及び売掛金	573,949	567,580
商品	878,732	998,960
仕掛品	17,693	45,272
その他	297,616	246,896
貸倒引当金	7,739	7,353
流動資産合計	2,599,001	2,676,436
固定資産		
有形固定資産	79,663	89,785
無形固定資産		
ソフトウェア	59,318	54,273
その他	116	116
無形固定資産合計	59,434	54,389
投資その他の資産	163,326	206,007
固定資産合計	302,424	350,182
資産合計	2,901,425	3,026,618
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	502,251	503,157
短期借入金	12,500	15,000
1年内返済予定の長期借入金	90,744	96,032
未払法人税等	105,683	97,974
賞与引当金	26,570	100,844
製品保証引当金	15,848	19,539
受注損失引当金	141	1,395
資産除去債務	1,065	-
その他	504,851	427,895
流動負債合計	1,259,656	1,261,838
固定負債		
長期借入金	36,948	71,200
ポイント引当金	35,703	41,054
資産除去債務	23,094	23,473
その他	29,928	36,899
固定負債合計	125,674	172,627
負債合計	1,385,330	1,434,465
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	269,182	269,745
資本剰余金	220,449	221,012
利益剰余金	1,017,510	1,097,514
自己株式	202	202
株主資本合計	1,506,939	1,588,068
新株予約権	236	236
非支配株主持分	8,919	3,848
純資産合計	1,516,095	1,592,153
負債純資産合計	2,901,425	3,026,618

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)
売上高	3,514,036	4,126,858
売上原価	2,311,513	2,804,728
売上総利益	1,202,523	1,322,129
販売費及び一般管理費	1 1,025,889	1 1,145,311
営業利益	176,634	176,817
営業外収益		
受取利息及び配当金	54	75
為替差益	4,111	-
受取手数料	-	3,724
その他	4,080	1,579
営業外収益合計	8,246	5,378
営業外費用		
支払利息	796	620
為替差損	-	6,540
その他	530	2,350
営業外費用合計	1,327	9,510
経常利益	183,553	172,686
特別利益		
固定資産売却益	-	184
特別利益合計	-	184
税金等調整前四半期純利益	183,553	172,870
法人税、住民税及び事業税	100,938	94,897
法人税等調整額	30,754	25,617
法人税等合計	70,184	69,280
四半期純利益	113,369	103,591
非支配株主に帰属する四半期純損失( )	375	5,071
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,744	108,662

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)
四半期純利益	113,369	103,591
四半期包括利益	113,369	103,591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,744	108,662
非支配株主に係る四半期包括利益	375	5,071

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	183,553	172,870
減価償却費	14,610	20,610
のれん償却額	529	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,534	385
ポイント引当金の増減額(は減少)	3,475	5,350
製品保証引当金の増減額(は減少)	6,360	3,691
その他の引当金の増減額(は減少)	60,394	75,527
受取利息及び受取配当金	54	75
支払利息	796	620
株式交付費	347	-
有形固定資産除売却損益(は益)	-	184
売上債権の増減額(は増加)	37,209	6,369
たな卸資産の増減額(は増加)	151,107	147,807
仕入債務の増減額(は減少)	75,170	906
未払金の増減額(は減少)	12,713	26,018
前受金の増減額(は減少)	46,111	41,997
その他	34,732	60,030
小計	226,531	129,509
利息及び配当金の受取額	81	75
利息及び保証料の支払額	843	615
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	49,913	104,084
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>175,856</b>	<b>24,884</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	840	480
定期預金の払戻による収入	2,400	-
有形固定資産の取得による支出	13,836	15,506
有形固定資産の売却による収入	-	210
無形固定資産の取得による支出	9,454	1,308
投資有価証券の取得による支出	-	32,000
敷金保証金の差入による支出	14,087	12,121
敷金保証金の回収による収入	500	9,313
資産除去債務の履行による支出	-	677
その他	780	780
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>36,098</b>	<b>53,349</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	30,000	15,000
短期借入金の返済による支出	2,500	12,500
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	52,608	60,460
株式の発行による収入	11,352	1,125
自己株式の取得による支出	106	-
配当金の支払額	21,122	28,576
新株予約権の発行による収入	236	-
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>65,251</b>	<b>14,588</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,005	209
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	207,014	13,667
現金及び現金同等物の期首残高	551,261	838,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 758,276	1 825,080

【注記事項】

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)
給料手当	251,917千円	280,844千円
賞与引当金繰入額	53,653 "	66,798 "
貸倒引当金繰入額	1,536 "	386 "
ポイント引当金繰入額	22,784 "	35,434 "
製品保証引当金繰入額	16,152 "	19,539 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)
現金及び預金	758,276千円	825,080千円
預入期間が3か月を超える定期預金	"	"
現金及び現金同等物	758,276千円	825,080千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年7月25日 定時株主総会	普通株式	21,276	18.00	平成26年4月30日	平成26年7月28日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年7月24日 定時株主総会	普通株式	28,658	24.00	平成27年4月30日	平成27年7月27日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年5月1日 至 平成26年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,777,352	599,036	137,648	3,514,036		3,514,036
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,461	22,875	382	33,720	33,720	
計	2,787,814	621,911	138,031	3,547,756	33,720	3,514,036
セグメント利益	229,175	24,797	16,246	270,219	93,585	176,634

(注) 1. セグメント利益の調整額 93,585千円には、セグメント間取引消去6,782千円、未実現利益の調整額467千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 100,835千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,166,986	811,203	148,668	4,126,858		4,126,858
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60,618	14,985	6,296	81,900	81,900	
計	3,227,605	826,189	154,964	4,208,758	81,900	4,126,858
セグメント利益	204,973	43,406	29,503	277,883	101,065	176,817

(注) 1. セグメント利益の調整額 101,065千円には、セグメント間取引消去9,987千円、未実現利益の調整額 1,192千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 109,860千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	19.19 円	18.19 円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	113,744	108,662
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	113,744	108,662
普通株式の期中平均株式数(株)	5,928,204	5,975,024
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	18.98 円	17.47 円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	65,225	244,356
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当社は、平成27年5月1日付で普通株式1株につき普通株式5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年12月14日

株式会社 ビューティガレッジ  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	水	上	亮	比	呂
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	淡	島	國	和	

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ビューティガレッジの平成27年5月1日から平成28年4月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成27年8月1日から平成27年10月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年5月1日から平成27年10月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ビューティガレッジ及び連結子会社の平成27年10月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。